

平成23年3月期 決算の概要

当期のクローラクレーンの世界需要は、先進国地域は各国の景気回復の遅れによる需要の低迷や減少が続きましたが、新興国地域はアジア地域を主体に回復基調にあり、全世界では前期よりも増加しました。しかしながら、為替の急激な円高進行や資材価格の上昇などにより、当期においても極めて厳しい事業環境で推移しました。

国内市場は公共工事、民間工事が引き続き低調に推移するとともに、景気の先行き不透明感から新車購入に慎重な姿勢に変化が無く、クローラクレーン新車需要は前年度比17%の減少となりました。

海外市場は、先進国地域の北米や西欧では各国の景気回復の遅れなどにより、新車需要は前年度から大きく減少しました。一方、新興国地域のうち、中国では中国政府の内需刺激策により需要が急激に回復し、その他アジア地域でも回復基調に転じるなど、世界的には需要は総じて前年より増加しましたが、国や地域によっては回復が遅れており、依然、斑ら模様を呈しておりました。

こうした市場環境の中、当社は原価低減、固定費低減、在庫削減に取り組みましたが当期の業績は以下の通りとなりました。

【平成23年3月期の経営成績（連結）】

	売上高	対前期 増減率	営業利益	対前期 増減率	経常利益	対前期 増減率	当期純利益	対前期 増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当期	23,150	(Δ3.6)	△2,238	—	△2,311	—	△2,316	—
前期	24,012		△1,258		△1,251		△726	

国内事業については、新機種の投入やサービス部品の拡販に取り組んで参りましたが、当期の国内売上高は11,728百万円（前年度比5%減）となりました。

海外事業については、北米ではLink-Belt Construction Equipment Company、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V.、中国では子会社の日立住友重機械建機起重機（上海）有限公司など各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援や新興市場の開拓に努めました。当期の海外売上高は11,422百万円（前年度比3%減）となりました。

世界経済は依然、先行きが不透明であり、さらに、この度の東日本大震災や原子力発電所事故による各種影響を受けることが予想され、当社の事業環境はより一層厳しくなる見通しではありますが、クローラクレーン市場の世界需要は緩やかながらも回復基調にあることから、下記の重点方針を推進することで、引き続き、競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減を推進します。
- 2) 市場の要求に合った新機種開発を継続的に推進します。
- 3) 顧客満足度のさらなる向上を目指し、関係会社及び代理店との連携強化を図ります。
- 4) 更なる固定費の削減を推進します。
- 5) キャッシュフローの改善を図るとともに、内部統制を重視して企業体質の強化を図ります。

（お問い合わせ先）
日立住友重機械建機クレーン株式会社
経営企画部
Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379
〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号
URL/ <http://www.hsc-crane.com>